



掘割の安全対策はどのように

問 掘割の安全対策はどのように
答 浮き輪の代用品等の設置、ステップの設置を検討する

問

掘割の安全対策は？

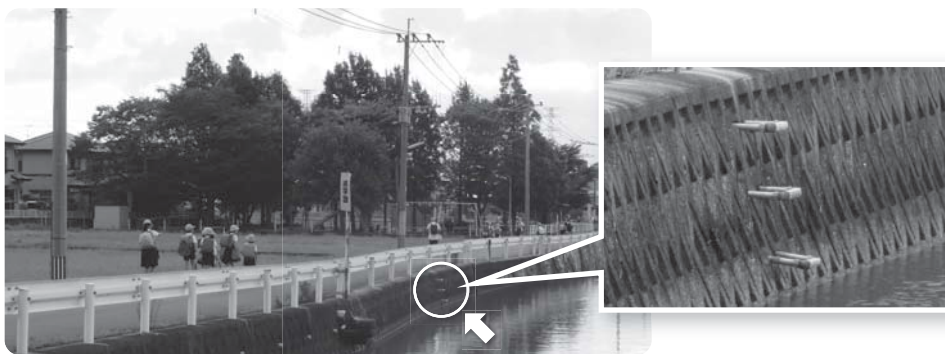
建設水道課長

掘割の安全対策について、最近の護岸工事は、多自然型の護岸工事を実施し、堀の土手の勾配も緩やかで、数カ所に階段工や全線にガードレールが設置されるなど、安全に配慮した工事を実施している。

水路沿いの通学道路に関しては、平成24年度において通学路緊急合同点検を各学校、筑後警察署、教育委員会で実施した。その合同点検を受け、危険箇所については防護柵などの設置を行っている。

上八院の通学路では、ガードレールは全線設置されているが、土手の勾配が強い昔ながらの間知ブロックタイプの積みブロックの護岸であり、また掘割の幅も広く、安全対策のステップも数カ所しか設置されていない状況。地元と協議しながら、取り組める安全対策とし浮き輪の代用品となるようなペットボトルやポリタンクなど、早急に行ける対策を検討していく。

交通安全対策要望書の提出を地元区長にお願いしている。ので、ガードレール、カーブミラー等の設置とあわせ、通学路を優先して堀のステップ設置を全町的に整備することを検討していくことも必要ではないかと考えている。



幹線水路につくられたステップ

問

エリアメールは町内だけのエリアメールにはならないか。

総務課長

エリアメールは、国民の災害対策への関心の高まりを背景に、携帯電話事業者が被災のおそれのあるエリア内の携帯電話に対して、緊急地震速報や災害・避難情報を短時間で同時配信するサービスである。エリアメールには、気象庁からの緊急地震速報と、国・地方公共団体が発信元として携帯電話事業者と契約し、住民向けに災害・避難情報を配信する2つのサービスがある。

携帯事業者は、エリアメールを発信処理する際に、発信先のエリア(対象の基地局)をまず決定し、その対象基地局からエリアメールを一斉配信することで、その基地局周辺の携帯電話がメールを受信するものである。久留米市では土砂災害警戒等のため、エリアメールを利用しているが、現在、大木町を含め久留米市以外の周辺市町村では、エリアメールの利用はし

ていない。

本町周辺の自治体が配信するエリアメールについては、当該自治体内にある基地局に配信され、その基地局周辺の携帯電話が受信するものである。周辺自治体が配信するエリアメールが大木町にも配信されてしまうことは制限がないものになっている。

